

## 知っておきたい伝染病（感染症）

### 1. 登園許可のいる伝染病（感染症）

病名	潜伏期	症状など	休園期間の目安	合併症など	予防接種
麻疹 （はしか）	10～12日	発熱・咳・鼻水・目が赤い。 発疹（顔→胸→おなか・手足→全身） 口内粘膜に白いブツブツの斑点。	主要症状消失後 3日を経過するまで	肺炎・脳炎・咽頭炎 中耳炎など	有り 〔無料〕
水痘 （水ぼうそう）	11～20日	水疱は全身。（紅斑→水疱→膿疱→ かさぶたと変化） 発熱・かゆみが強い。	すべての発疹が かさぶたになるまで	肺炎・脳炎・肝炎 ライ症候群など	有り 〔有料〕
風疹 （三日はしか）	14～21日	軽い発熱と同時に全身に紅い 細かい発疹。首や後頭部の リンパ腺が腫れる。	発疹が消失するまで	脳炎・髄膜炎 血小板減少性紫斑病 など	有り 〔無料〕
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	14～24日	耳下腺（耳の下から頬にかけて）の 腫れや痛み・発熱。	耳下腺の腫れが 消失するまで	髄膜炎・難聴 思春期以降になると 睾丸炎・卵巣炎など	有り 〔有料〕
流行性感冒 （インフルエンザ）	1～2日	高熱（39℃以上）・寒気・頭痛・ 体の節々の痛み。	熱が下がって 2日を経過するまで	肺炎・中耳炎 気管支炎・脳炎 心筋炎など	有り 〔有料〕
百日咳	7～14日	コンコン、ヒュー特有な咳が 長時間持続。乳児は呼吸困難になる。	激しい咳が 失するまで	肺炎・中耳炎 脳炎など	有り 〔無料〕 三種混合
咽頭結膜熱 （プール熱） （アデノウイルス感染症）	5～6日	喉と目が真っ赤になり、目やにや 涙が出る。発熱（39℃位）が 数日続き、喉が痛い。	主要症状が消失した後 2日を経過するまで	肺炎など	無し
結核	発病時期は 様々	始めは風邪症状。発熱や微熱 食欲不振・全身がだるい・顔色不良。	医師の判断で、 感染のおそれが なくなるまで	髄膜炎など	有り 〔無料〕 BCG
腸管出血性 大腸菌感染症 （O-157等ベロ 毒素産生性大腸菌）	4～9日	無症状から下痢（水様便）腹痛、 血便等が特徴である。激しい腹痛・ 頻繁にみられる水様便及び著しい血便。 飲食物からの経口感染。年間を通じて 発症するが、特に夏に多い。	医師の判断で感染の 恐れがなくなるまで	溶血性尿毒症症候群、 脳症など重症の 恐れあり。 時に死に至る。	無し
流行性角結膜炎 （はやり目）	7～12日	目やにが多量。涙が出やすい。 まぶたが腫れる。まぶしくて目が あけにくい。（感染性の角膜炎と 結膜炎が合併する目の感染症）	医師の判断で感染の 恐れがなくなるまで	接触感染で感染力が 強い。プールの水、 タオル、衣類、 遊具等から感染する。	無し
急性出血性 結膜炎	1～2日	結膜や白目の部分の痛みがあり、 まぶたの腫れが特徴。	医師の判断で感染の 恐れがなくなるまで	接触感染で感染力が 強い。プールの水、 タオル、衣類、 遊具等から感染する。	無し

● 予防接種の時期には忘れずに、**予防接種を受けましょう**。病気の予防になります。また、かかっても軽くすみます。

**登園許可証明書**は、このホームページのダウンロードのページから**ダウンロード**できます。

**!** 保育中に 37.5℃以上の発熱などがみられた時は園から連絡いたします。  
保護者の方のお迎えをお願いします。

### 2. 症状により医師と相談の上判断して登園してください。 （登園許可証明書は不要）

病名	潜伏期	症状など	休園期間の目安	合併症など
溶連菌感染症 （猩紅熱）	2～5日	咽頭痛、寒気、発熱、扁桃腺腫脹、 全身に赤い細かい発疹。舌にも発赤、 発熱、発疹が消えだすと手足の皮膚が 剥ける。皮膚はとびひ症状から かさぶたになる。	医師の判断で 主要症状が 消退するまで	急性腎炎、リウマチ熱など
手足口病 ヘルパンギーナ	3～6日	手、足、口に小さな水疱。 軽度発熱（38℃位）のどの痛み。 口内炎はひどく食べるのに苦痛。	熱が下がって口内炎が 消失するまで	何回もかかることがある。 脳炎など。
百日咳伝染性赤斑 （りんご病）	7～14日	両方のほほが赤く盛り上がり少し熱を 持つ。腕、脚にレース模様の発疹。 お尻にもブツブツがでることもあり。	医師の判断で感染の 恐れがなくなるまで	関節痛、関節炎、脳症、 溶血性貧血など
ウイルス性肝炎 （A型肝炎）	数週間	発疹、全身がだるい、頭痛、食欲不振、 下痢、嘔吐、上腹部痛等後、3～4日で 黄疸がでる。	医師の判断で 主要症状が 消退するまで	予防接種あり （有料）
伝染性膿痂疹 （とびひ）	2～5日	虫刺され湿疹等不潔な手でかきこわした 傷から発生。感染力が強い。水ぶくれ、 うみ、かさぶた様に赤く、ただれる。	ジクジクした発疹が なくなるまで	
RSウイルス感染症	2～8日	全身倦怠感、頭痛、咳、鼻水などで 発症し、発熱は39度以上になることが 多い。	咳などの症状が 安定し、全身状態が 良くなるまで	中耳炎や発疹、ときには 髄膜炎、脳炎、心筋炎、 肝炎を起こすなど 症状は多彩
マイコプラズマ 感染症	2～3週間 （14～21日）	軽いかぜ様症状から、 重症な細気管支炎や肺炎などの 下気道疾患に至るまで、 様々な症状を呈する。	咳などの症状が 安定し、全身状態が 良くなるまで	特に乳幼児期において 重要な疾患で、初感染の 1/3が下気道疾患を起こす。
ウイルス性胃腸炎 （流行性嘔吐下痢症） （ノロウイルス・ロタウイルス）	1～3日	嘔吐と下痢が主徴であり、特に下痢便が 牛乳のように白くなることもある。 2～7日で収まるが、脱水症状に 注意を要する。	下痢・嘔吐症状から 回復した後、 全身状態が 良くなるまで	

● 集団生活において、流行を広げる可能性のある伝染病も医師と相談してください。

● 保育にあたって気をつけなければならない場合  
（例えば、心臓疾患・川崎病・ひきつけ・手が抜けやすいなど）は必ず申し出てください。